

新潟県警察本部交通規制課

調査日：平成 16 年 11 月 8 日（月）

班：道路ネットワーク班

分類別：復旧・復興状況

キーワード別：一般道路、高速道路、交通ネットワーク、輸送

調査結果

(1)震災直後の状況（初動体制・情報収集等）

- ・震災時には例規があり、震度 5 以上で自動招集となる。平成 7 年から変わっていない。
- ・情報は署からすぐに上がってきた。24 日の朝には概ね状況を把握し県下に情報を配信した。
- ・信号は基礎がしっかりしていて、10 数基が傾き、数基が倒れた程度であった。

(2)交通規制・管理の実施状況

- ・道路管理者との情報のやりとりは円滑であったが、警察では職員の誰もがインターネットを使える環境になく、FAX で情報のやりとりをしていた。県道以上は県警レベルで、市町村道は所轄レベルで対応していた。
- ・自家用車でやってくるボランティアの活動状況が読みにくかった。インター出口などの主要ポイントで人を張り付けて交通整理を行った。
- ・県警としては現場がなく、細かい道路の情報が分からない。そのため確信を持って案内ができない状況にある。
- ・東京方面のルート開拓を道路管理者と協働して行ったが、警察としての判断（特に大型車の通行許可）は難しい。